

令和元年度第2回学校評議員の会が開催されました。

日 時： 令和2年2月21日（金） 15：30～17：00
場 所： 堅田高等学校 校長室
出席者： 学校評議員 西委員 谷川委員 東委員 寺田委員 川中委員
学校 藤支校長 小野教頭 青木教務主任代理
青井生徒指導主任 正木進路指導主任
大西1年学年主任 岡崎2年学年主任
善村3年学年主任

(欠席者) なし

<次 第>

1 校長挨拶

学校の様子は参観していただいた通りである。学校の壁の色をアンケートを取ってみたところ、教師と生徒で考え方が違った。生徒の意見を聞いて堅田高校をよりよい形にしていきたい。次年度からはかねてからの生徒の要望もあった、生徒個人用ロッカーを設置することになった。それは生徒が勉強に学習に熱心に取り組む様子から、堅田高校への評価が変わってきているからだと感じている。今後も多くの方々からご意見をいただき、堅田高校をよりよくしていきたいと思う。

2 出席者の紹介 学校側：自己紹介、委員：自己紹介 各委員、出席者の紹介

3 今年度の取り組み現況と課題について

- (1) 学校経営全般について ……校長より
進学、就職でかなえたい進路をめざす。自習室で勉強に真摯に取り組む姿勢が見えている。現在は学力向上に努めている。
- (2) 学習指導について ……教務課より
新学習指導要領の実施に向けて準備を行っている。
- (3) 生徒指導について ……生徒指導課より
○近畿大会出場…陸上
インターハイ出場…ウエイトは3位、カヌーは国体優勝。
以前に比べると体育館やグラウンドにも活気が出てきている。熱心に取り組んでいる生徒も多く、今後に期待できる。

○生徒指導

問題行動の件数は非常に少ない。学校はおおむね落ち着いているが、SNS等でのからかいなどが問題となってきている。アプリを利用しての悪口など今後も指導していきたい。

本校生徒が小学生にケガの処置をし、地域からも感謝されるなど思いやりのある生徒がいる。

(4) 進路指導について ……進路指導課より

本日までで、4年制大学はのべで78名が合格した。今まで合格していた大学に、大学入試改革等で受験生が安全志向の傾向になり難化している状況ではあるが、今年度同志社大学に現役合格するなど生徒たちは頑張っている。補欠合格などでも多くの大学合格通知が届いている。現在国公立大学に挑戦中の生徒がいる。

毎年、看護専門学校への進学希望者が10数名いるので、看護ガイダンスを行っている。その成果もあり、今年は希望者が全員合格した。滋賀県総合保健専門学校にも補欠だったが合格した。

就職は一次試験の合格率は88%だったが、2次試験により就職希望者は全員合格し春からの入試に備えている。公務員希望者は例年より少ないが、現在結果待ちの生徒がいる。

(5) 生徒の学習状況や生活状況について ……各学年より

3年…多くの生徒が進路実現し、卒業後の進路が進路決定している。未定の生徒が数名いるが、結果を待っている状況である。最後まで粘り強く指導し、卒業式を迎えたい。

2年…修学旅行には全員参加した。生徒はほぼ休むこともなく、テストに向けて学習に取り組んでいる。補習等も含めて指導し全員進級できるように指導している。

1年…進級に向けての補習、学習に取り組んでいる。

(6) 入学者選抜について ……教頭より

最近、堅田高校で頑張りたいと言っている生徒が増えてきている。傾向として中学校から勉強を頑張っている生徒が堅田高校を希望している。推薦選抜では普通科の入試倍率県内2位となり、人気校になっている。

スポーツ・文化芸術推薦選抜ではウエイトリフティングを頑張りたいと意欲を持って入学を希望している中学生が多く、毎年1.0倍を超えている。

(7) 学校評価と改善策について ……教頭より

学校評価にかかる評価シートの資料の説明。3年間の経緯を紹介。各評定についての説明。保護者からの要望は、自由記述の部分をまとめたものを紹介。

R1年度学校改善策実施状況と学校評価の確認をする。

(8) その他

4 校務運営に係わる意見交換

・学校評議員からの提言等

○：学校評議員の提言（意見）や質問

●：学校側の発言

- 普通クラスも特進クラスも授業に熱心に取り組んでいる。交通マナーで気になるのは歩道に広がって通学している生徒がいること。駅周辺は道が狭く危険なので十分気をつけて登校してほしいと思う。
- 交通マナーを守れない生徒はいないが、歩道がないところでは大きく広がって歩く生徒もおり、苦情も寄せられている。何度か通学指導を行っているが、今後も指導していきたい。
- 学習指導を行っているというところの自己評価が低いように思う。授業を見学させていただいたところ、各先生授業で工夫しているので問題ないと思う。
- アンケートの結果を受けて改善に努めているところもある。
- 読書項目の評価が低い。教員と生徒の差が大きいように感じる。
- 本校の教員は読書活動を啓発している。本を読ませるだけでなく ICT 機器の活用などで、文字に親しむ機会を持たせたいが生徒はスマホを利用するので読書に関する関心が低いかもしれない。
- 読解力は低下しているといわれる中で、読書週間を行っているということだが、何をしているのか？
- ビブリオバトル等で本に親しむ機会を持っている。
- 現代文の授業で 10 分間集団読書を行っている。教材は教員の推薦図書を取り寄せて行っている。
- 学校評価のアンケート項目は各校で異なるのか？
- 各高校で異なっており、堅田高校独自の評価を行っている。各校の特色が見えている。
- 図書への関心が低くなっているが寂しい。
- 学園祭の評価が低いのが気になる。他校と比べると変化がないので、子ども達の楽しみが少ないのではないかと。
- 他校とはクラス数も違うので比較はできない。スマホ等で他校の様子が簡単にみられるので生徒はすぐに比較してしまうのかもしれない。
- 生徒と先生が授業中に笑顔で楽しそうにコミュニケーションをとっている姿が印象的だった。
- 帰宅途中に買い食いの食べ歩きが気になる。道いっぱいに広がりながら歩く生徒もおり、車を気にしていないので事故にあわないか心配。
- 服装が乱れている生徒がいらない。
- 電車のマナーも良くなっているのではないかと。苦情を聞かないので。
- マナーが良くなっている。
- 学校に居場所があるかの項目の生徒評価が低いのが気になる。生徒の学校での居場所を意識させてください。
- 少数意見ではあるが注意・意識していく。
- わかる授業の学校評価は B から A にしてもいいのではないかと。
- 進路情報の提供の学校評価は B から A にしてもいいのではないかと。

- 省エネのところはBからAにしてもいいのではないか。
- 教員の喫煙については、吸えない場所も増えてきていることもあるが、先生への評価が厳しいと思う。時代の変化でしょうか…。
- ありがとうございます。ご指摘いただいた項目評価は学校関係者評価で反映いたします。

5 校長謝辞